



民主教育の確立を！教え子を再び戦場へ送るな！

団結！北薩！

2015.12.22 (火) 発行 文責 黒木 健史 (通算第7号)

はじめに

12月号



日中はポカポカの陽気が続いたことで、冬野菜は豊作。一方、家庭では「今夜は鍋にするか！」ともなかなかいかず、結果、野菜の価格は暴落気味・・・家計は助かるけど、生産者ももう大変・・・というはなしを聞きました。世の中のみんながHAPPYになるならよいのですが、多くの場合で利害がぶつかってしまいます。学校現場でも、ライフワークバランスを確立したい職員と、学校の「業績」を上げて(特定の)外部からの「評価」を上げたい管理職との間で利害がぶつかります。ぶつからないのであれば、子どもに関する緊急的な問題を除けば「超勤・多忙化」の問題など起きないと思います。「超勤・多忙化」を解決するための方法として「労安体制の確立」が挙げられますが、その基本となるのが労安法でも定められている衛生委員会の「毎月」開催です。しかし、県教委はその通知の中で「学期1回」を推奨？しており、多くの管理職も横並び「学期1回」開催で通しています。衛生委員会は超勤・多忙化をチェックする場です。その機能が充実すると、窮屈な教育課程にメスが入ります。その窮屈さを生み出しているものが、例えば小中一貫教育関係であったり、研究公開関係であったり、〇〇タイムであったり、校内研修関係であったりするわけです。学校現場は校長次第です。校長が最大多数のHAPPYを実現することを最優先してくれる学校で働きたいものです。

監視行動に参加しました。



12月20日(日)に原子力防災訓練監視行動に参加しました。「監視行動」とは、訓練の実際を監視し、その不備をさがすものです。わたしは、阿久根地区の訓練を追っかけました。参加者はどのように選ばれたのかはわかりませんが、せっきくの休日にバスに揺られて出水市のある小学校に特設された避難退域時検査場まで運ばれていました。そこで緊急

被ばく医療措置訓練と(甲状腺を守る)ヨウ素剤配布訓練がなされていました。「ヨウ素剤は、被ばく前に服用しないと・・・」そのあと、バスは熊本県芦北町の県立あしきた青少年の家に向かいました。結局、14時前に無事到着。監視チームは見届けた後、阿久根市に戻り市民に聞きとり調査を開始しました。「避難先なんて知らない・・・」「訓練があったことも知らない・・・」どうやら訓練はひっそりと実施されたようです。その後薩摩川内市に戻り、各監視チームから報告がなされました。時計は17時をまわっていました。そして、わたしは思いました。「せっきくの日曜なのに、再稼動さえなければ・・・」



避難退域時検査場(東出水小)



人事学習会 ありました。

10日(木)11日(金)に人事学習会を川薩、出水で連日開催しました。川薩では、本部から講師をお招きし、これまであった事例をいくつか紹介しながら、人事のルール等の説明がありました。校長がいかに親身になって身上を聞いてくれるか？ 気持ちよく異動したいものです。



戦争法の廃止を求める統一署名

強行採決から3ヶ月、「安心してください、国民はいつか忘れますよ。」と言わんばかりに、次は憲法改悪をすすめるようとしています。順番がアベコペです。だからこそ、組合員1人あたり2枚(10筆)をお願いします。勝負は今からです。

川薩教育会館および出水教育会館の閉館のお知らせ
12月29日(火)～1月3日(日)まで

現場のあれこれにツッコミを入れる新感覚の企画
おわび：第8回は、次号で。

ちょっとフレイクしませんか?? シブ☆カフェ 7杯目

実は10月から自転車通勤をしていましたが、寒くなったので今年の営業運転はお休みすることになりました。しばらくの間、お休みしますが、春になれば再稼動するので、メンテナンスだけはしっかりやりたいと思います。

